

木村莊八 画家、随筆家。「墨東綺譚」などの小説挿絵で傑作を描き、「東京繁昌記」の画文で日本芸術院恩賜賞追贈。

きむらそうはち

郡司千島探検 1893 =

東京日本橋の盛業で知られた牛肉店"第八いろは"の第八子に生まれる。

日清戦争始・1894 = 1歳：

兄・姉・弟の多くが後に夫々の分野で名を成すような環境に育ち、

教科書疑獄・1902 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 12歳：

大逆事件判決 1911 = 18歳：中学卒業後、

明治天皇没・1912 = 19歳：*白馬会の菱橋洋画研究所に学び、岸田劉生を知り、ともにフウザン会の結成に参加してデビュー。「エル・グレコ」「未来派及立体派の芸術」などを翻訳出版、後期印象派以後の新美術の紹介にも尽力。

大正政変・・・1913 = 20歳：

フウザン会解散後、岸田劉生、高村光太郎らと{生活社}を起こし、

21ヶ条要求・1915 = 22歳：

未来派及立体派の芸術」「近世美術」。岸田、中川一政らと{草土社}を結成、二科会、日本美術院洋画部にも出品。

本格政党内閣 1918 = 25歳：*二科展で樗牛賞。

ベルサイユ条約・1919 = 26歳：「少年芸術史ニール河の畔」、

大暴落・・・1920 = 27歳：「宗教改革期之画家デューラー」、

原敬首相暗殺 1921 = 28歳：「日本を見る」「生活と美術」、

水平社結成・1922 = 29歳：「近代絵画」。{草土社}を解散し、新結成の{春陽会}に招かれ、

関東大震災・1923 = 30歳：「文芸復興期の先覚レオナルド」、

護憲三派圧勝 1924 = 31歳：「猫」「清談」。以降、会員として活躍。

円本時代始・1926 = 33歳：「芸苑往来」、

金融恐慌・・・1927 = 34歳：「広重」、

共産党事件・1928 = 35歳：代表作「パンの会」、

世界恐慌・・・1929 = 36歳：

満州事変・・・1931 = 38歳：

五一五事件・1932 = 39歳：代表作「牛肉店帳場」など。

また「にぎりえ」、

日中戦争始・1937 = 44歳：*「墨東綺譚」など小説挿絵にもすぐれた作品を残した。

健保+総動員 1938 = 45歳：

日米開戦・・・1941 = 48歳：

邦楽評論家としても知られ、随筆家としても著名で、

創価学会検挙 1943 = 50歳：「風俗帖」「近代挿絵考」、

年金+総武装 1944 = 51歳：「随筆美術帖」、

敗戦・・・1945 = 52歳：

新憲法施行・1947 = 54歳：

三大事件・・・1949 = 56歳：「東京の風俗」、

独立回復・・・1951 = 58歳：「南縁随筆」、

メテ-事件・1952 = 59歳：「現代風俗帖 正」、

TV放送始・・・1953 = 60歳：「現代風俗帖 続」。*「東京今昔帖」があり、

自衛隊発足・1954 = 61歳：画譜「花の生涯」、

国連加盟・・・1956 = 63歳：「随筆女性三代」、

イスタラ-マ・1958 = 65歳：*画文「東京繁昌記」を遺して、没した。

翌年、「東京繁昌記」の画文が日本芸術院恩賜賞を受けた。「木村莊八全集」全8巻がある。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、